

＜卓話：新聞と地域社会・新聞編集雑学：平賀義男様＞

(I) 新聞と地域社会

- (1) 新聞編集者のこと
- (2) 「中金杉かわら版」創刊5年
- (3) 多岐にわたる新聞の中身
- (4) 編集方針
- (5) 少子高齢化時代に向けて
- (6) 根づいた街をあげての新聞づくり

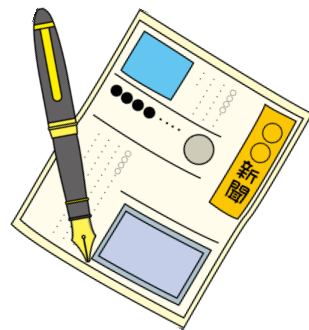


(II) 「新聞編集 雑学」①

- 編集者の心構えと役割
- 基本的な5つの作業
1原稿の取舍 2原稿の直し 3原稿の扱い 4見出しをつける 5降版
- ニュースの価値判断
- 何がニュースか
- 5W1H 「だれが」「いつ」「どこで」「何を」「なぜ」「いかに」

(III) 「新聞編集 雑学」②

- 「編集」と「整理」
- 編集者の責任と権限
- ニュース価値の判断の尺度
新奇性・人間性・普遍性・社会性・影響性・記録性・国際性・地域制
- 原稿の種類
雑報・読み物・論評・解説・コラム記事・予報・記録・論説・寄稿・社告
- 編集者の原稿の手入れ
読みやすくすること・誤りを防ぐこと・紙面上の体裁を揃えること・整合性
- 見出し



※ 詳しい内容は配布された資料に載っています

😊 <ニコニコ委員会：小林 弘委員長>

■野村 充：先日は結婚祝いのお花を有難うございました。
川柳に「バラに似て 妻も花散りトゲ残し」とありましたが、あの花は「トリカブトの花」のような気がする今日このごろです。



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第1981回 例会 2013年9月10日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズ ハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第1981回：例会プログラム>

12:30	点鐘	児山守治会長
	ロータリーソング斉唱	
	【♪我等の生業】	
12:33	お客様紹介	崎谷延好エレクト
12:35	会食	
12:55	例会再開	
	会長挨拶・報告	児山守治会長
13:00	幹事報告	平田洋一幹事
13:05	卓話	平賀義男様
	「新聞と地域社会」について	
	「新聞編集・雑学①②」	
13:25	【委員会報告】	
	社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表	高崎卓哉委員長
	ニコニコ委員会 ニコニコ発表	小林弘委員長
13:30	点鐘	児山守治会長

<会長挨拶：児山守治会長>



皆さん こんにちは。
 ようやく秋らしくなってきました。夏の疲れが出る時期ですからどうぞお身体ご自愛いただきしたいと思います。

さてロータリーには二大標語があります。その一つは「超我の奉仕」であります。その二は「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」であります。

その一は1910年創立のミネアポリスロータリークラブの初代会長ベンジャミン フランク コリンズ が「Service, Not Self」提唱後に「Service Above Self」と改めました。

その二は1908年シカゴ ロータリークラブに入会したアーサー フレデリック シェルドン が「He Protits Most Who Service Best」と提唱しました。

共に1911年の全米ロータリークラブ連合会のポートランド大会で発表されロータリーの理想を効果的に表現したものとしてロータリアンの心にはっきり印象付けられました。

その後1950年のデトロイト大会で正式にロータリーの標語として採択されました。

「Service, Not Self」は超我の奉仕と訳されていますが自分を犠牲にして他人に尽くせよという意味のように解釈されるかも知れませんがそうではなくて人間の本能ともいえる自分の利益だけに没頭することなく自分の正当な利益だけを受け先ず奉仕せよと云う意味なのです。

「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」は成功する商売の道は奉仕することに関わっていることなのです。即ちどんな取引でも売り手と買い手、双方に利益するものでなくてはならないと言う理論からでたものなのです。

少しずつロータリーの歴史を学んで行きたいと思っております。
 これにて挨拶とさせていただきます

■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■
 このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

WEEKLY REPORT

<幹事報告：平田洋一幹事>

※ 下記の案内が来ています。ご興味のある方は 事務局へお申し出ください。



14回 ロータリアン芸術祭作品出展のお願い

- 期 日 2013年11月9日(土) 10日(日)
- 会 場 〒279-0011千葉県浦安市舞浜1-7
東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート TEL047(355)2411
- 担 当 フェロシップ委員会 宮川忠士(千葉西RC)、
石田善一(市川南RC)
- 申 込 送信先 ガバナー事務所
E-mail 13-14gov@rid2790.jp又はFAX 047-711-1546
- 締切り 10月11日(金)
なお、ご質問につきましてはガバナー事務所(Tel047-711-1545)へご連絡ください。
- 設 置 搬入設置 11月9日(土) 13:00~17:00
11月10日(日) 09:00~09:30
搬 出 11月10日(日) 17:00まで

出展者または出展者が依頼する関係ロータリアンが、ホテル指定入口より搬入し、担当者の指示に従い、指定された場所に設置してください。
 なお、大会会場の都合により、搬入搬出日時を上記のとおり制限させていただきます。予めご了承下さい。また、宅急便を利用される場合は、上記搬入時間内に配達されるよう時間指定願います。
 展示物は、そのままの状態を担当者が保管しておきます。

注意事項 出展された作品につきましては、万が一破損等が発生した場合には、一切責任を負いかねますのでご容赦ください。
 出展作品の額縁や表面につきましてはガラス製はご遠慮下さい。

第14回 ロータリアン芸術祭作品出展申込書 (*携帯は会場での連絡のため必ず記入してください)

ふりがな		住所	〒		
会員氏名		Tel		Fax	
所属クラブ		*携帯		E-mail	
作品の種類	(例えば、絵画、写真、書、彫刻、生花、焼物・・・)				
作品の大きさ 単位CM					
*搬入日に○印	11月9日	11月10日	特記事項		
*搬入方法に○印	本人、関係ロータリアン、宅急便				